

**令和 8 年度**

# **運営に関する計画**

**【中間評価】**

**大阪市立小林小学校**

**令和 8 年 9 月**

## 大阪市立小林小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

令和7年度の「運営に関する計画」における最終評価から、本校の現状と課題は以下のとおりである。

**【安全・安心な教育の推進】**

「安全・安心な教育の推進」については、2つの基本的な方向のもと、いじめや不登校の対応をすることや自己肯定感を向上させることに取り組んできた。「安全・安心な教育環境の実現」に向けては、「いじめ・いのちについて考える日」を年間3回実施し、「いじめは絶対にしてはいけない」という指導を一貫して行ってきた。認知したいじめについては、「大阪市内いじめ対策基本方針」に基づき、全教職員で共有して問題解決にあたっている。令和7年2月に実施した「教育振興基本計画に係るアンケート」の結果からも、児童は学校について「みんなの仲がいい」「いじめのない」、安全・安心な場所であることを求めていることがうかがえる。引き続き、「いじめは絶対にしてはいけない」という指導を継続し、安心して過ごせる学校を目指していきたい。「豊かな心の育成」に向けては、学級での活動や児童会での活動を通じて、自己肯定感の向上を目指してきた。「自分のよさ」を感じられるように、毎月行う「生活振り返りアンケート」において褒められた経験を想起させることで、令和3年度に比べて自己肯定感は高まってきた。しかし、大阪市学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、3割弱の児童が否定的な回答をするなど、全国や大阪市と比べて依然として低いことが課題である。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

「未来を切り拓く学力・体力の向上」については、2つの基本的な方向のもと、算数科における学力の向上や運動（体を動かす遊びを含む）が好きな児童の増加を目指して取り組んできた。「誰一人取り残さない学力の向上」に向けては、基礎学力の定着に課題があることから、算数科の学習時間の始めに「計算タイム（5分間程度の学年に応じた計算プリントに取り組む時間）」を全学年で行ってきた。さらに、授業の終わりには10分程度、繰り返し練習問題に取り組む時間を設けることで、学力の向上につながってきている。引き続き、児童一人一人に合わせた個別最適な学びの推進に向けた支援を行っていく。「健やかな体の育成」にむけては、主体的に運動する習慣を身に付け、基礎的な体力を養うとともに、健康的な生活習慣を心掛けるよう取り組みを行ってきた。なわとびやかけ足の集会を実施することで、休み時間にもなわとびやかけ足に取り組む児童の姿が見られた。また、健康的な生活習慣に向けては、「けんこう週間」を年2回設け、手洗い・うがいを定期的に行うように促すことができた。手洗い・うがいの習慣は身に付きつつあるものの、毎月の「けんこうしらべ」における「9時・10時に寝ましたか」の項目において、「いいえ」と答える児童が3割強いることから生活習慣の改善が課題と言える。

## 【学びを支える教育環境の充実】

「学びを支える教育環境の充実」については、2つの基本的な方向のもと、ICTを活用した教育の推進および働き方改革の推進に取り組んできた。「教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」に向けては、学習者用端末（コンバーチブル型PC）を活用し、児童の情報活用能力の向上に取り組んできた。外部講師を招いて情報モラル教育に取り組むなど、児童の発達段階に応じた情報教育を行った。スマートフォン等は便利である一方、ゲーム・動画・SNS等に時間を費やす児童が増加し、健康や生活習慣への影響やトラブルの増加につながってきている。急速に進んでいるデジタル社会の中で、スマートフォンを含む情報機器の適切な利用の仕方を学んでいくことは喫緊の課題である。情報機器は、調べ学習や学習動画の視聴など多様な目的に利用することもできるので、家庭と連携を図りながら適切に利用できるように取り組みを進めていきたい。「人材の確保・育成としなやかな組織づくり」に向けては、「学校園における働き方改革プラン」に基づき、長時間勤務の削減に取り組んできた。学校行事や会議の精選、週当たりの授業時数の削減などのカリキュラム・マネジメントに取り組むことで、時間外勤務時間は減少傾向にある。引き続き、業務改善に取り組み、児童一人一人に寄り添う時間を確保していきたい。

上記のような本校の現状と課題をふまえ、以下の中期目標を設定した。

### 中期目標

## 【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。

【R7:72.9%】

- ② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。

【R7:72.7%】

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、令和7年度より4ポイント向上させる。

【R7:0.85】 ※0.01を1ポイントとする。

- ② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【R7:83.5%】

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。

【R7:61.3%】

- ② 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

【校内調査 R7:26.1時間】

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。

【R7:72.9%】

- ② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。

【R7:72.7%】

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

【R7:3年 0.72 R7:4年 0.72 R7:5年 0.99】 ※0.01を1ポイントとする。

- ② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【R7:83.5%】

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。

【R7:61.3%】

- ② 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。

【校内調査 R7:26.1時間】

### 3 本年度の自己評価結果の総括

#### ○中期目標の達成に向けた年度目標について

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

#### ○年度目標の達成に向けた取組内容について

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

## 大阪市立小林小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                     | 達成状況 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>① 小学校学力経年調査における「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。【R7:72.9%】</p> <p>② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。【R7:72.7%】</p> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                                                                                                     | 進捗状況 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向性1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童と教員との信頼関係を深め、児童が安心して過ごせる学校づくりをする。</p> <p>指標・ 「いじめ・いのちについて考える日」を年3回実施し、いじめについての学習やいじめをなくしていく取り組みを全校で実施する。</p>                                                                                           | B    |
| <p>取組内容②【基本的な方向性2 豊かな心の育成】</p> <p>児童一人一人が「自分にはよいところがある」「自分は大切な存在だ」と感じられるような教育活動を進める。</p> <p>指標・ 「生活振り返りアンケート」を年間3回以上実施し、友だちや先生、家族から褒められた経験を想起させる。</p>                                                                                            | B    |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                                                                                          |      |
| <p><b>【年度目標の達成状況】</b></p> <p>① 校内調査において、指標を上回っている。しかし22.8%の児童が否定的な回答をしており、原因として教職員が相談相手となることを十分に認識していなかったり、相談することに抵抗を感じていたりすることが考えられる。【R8:77.2%】</p> <p>② 校内調査において、指標を下回っている。学校行事や学級目標での取り組みが結び付きにくい否定的な児童が一定数おり、ポイントが上がりにくい部分がある。【R8:70.9%】</p> |      |

### 【取組内容の進捗状況の結果と分析】

- ① 計画通り実施できている。また、児童アンケート「インターネットや生成 AI, SNS 等を活用するときに、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意したりしている。」「クラスの友だちをたいせつにして、なかよくすごしている。」の項目において、92.4%と高い数値を示している。
- ② 現時点では計画通りに実施できている。生活振り返りアンケートを活用して児童が自身の肯定的な経験を振り返る機会を作れている。

### 年度末への改善点

#### 【年度目標】

- ① 児童が安心して SOS を発信できる環境を作るため、学級や学年を超えて様々な児童と積極的に関わり、こまやかな声掛けを行うことで、児童と教職員のつながりを広げていく。また、困ったときは身近な大人に相談してよいことや、「心の天気」「相談申告機能」の使い方についての周知を継続する。
- ② 引き続き子ども一人一人のよさや成長を具体的に認め、小さな成功体験や活躍する場を積み重ねることで、自己肯定感・自己有用感を高めていく。

#### 【取組内容】

- ① いじめにつながる行為や発言に対する指導も行ったので、計画通り実施しつつ、いじめについて早期発見、早期対応を意識していく。
- ② 生活振り返りアンケートを必要に応じて内容を精査しながら計画通りに実施していく。

## 大阪市立小林小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 達成状況 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b><br><br>① 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。<br><b>【R7:3年 0.72 R7:4年 0.72 R7:5年 0.99】</b> ※0.01を1ポイントとする。<br><br>② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。<br><b>【R7:83.5%】</b>                                                                                                                              |      |
| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 進捗状況 |
| 取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】<br>算数科の授業づくりや計算力を高める取り組みを行い、算数科における基礎・基本の力を身につけることができるようにする。<br>-----<br>指標 ・ 教員全員が参加する授業研究会を年3回以上実施する。                                                                                                                                                                                                                                                                            | B    |
| 取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】<br>健康安全・運動的行事を充実させ、運動と健康に対する意識を高める。<br>-----<br>指標 ・ 全学年対象の健康安全・運動的行事を年間3回以上行う。<br>・ 全学年、「食に関する指導」を年2回以上行う。                                                                                                                                                                                                                                                                              | B    |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |
| <b>【年度目標の達成状況】</b><br><br>① 12月に小学校学力経年調査を実施予定である。基礎・基本の力を身につけるために計算タイムや算数科授業の後半10分を「身につける」時間として全学年で問題演習に取り組んでいる。<br><br>② 児童が多様に遊べる環境をつくったり、定期的にみんな遊びを実施している学級があったりすることで、児童が運動することのへの意欲の高まりにつながっている。 <b>【R8:91.1%】</b><br><br><b>【取組内容の進捗状況の結果と分析】</b><br><br>① 児童が計算力を高める取り組みとして、日々の算数科の授業の中で計算タイムを計画的に行うことができた。また、算数科における授業研究会が3回以上計画されており、1回目の際に充実した協議ができた。夏季休業中にも研修が行われ、教員の算数科の基礎・基本の力を身につける指導力向上の機会が設けられた。 |      |

- ② 各学年、「食に関する指導」を計画通りに実施している。また、5月に実施した「けんこう週間」では、手洗いうがいを励行し、児童の健康に対する意識を高めることに努めた。

#### 年度末への改善点

##### 【年度目標】

- ① 12月の小学校学力経年調査の結果を基に改善していく。
- ② 休み時間や体育の学習を通して、継続的に体を動かす機会を設定していく。また、冬季に企画している運動的行事も活用する。

##### 【取組内容】

- ① 児童が算数科における基礎・基本の力を身につけることができるようにするために、授業研究会を計画的に実施していく。
- ② 今後も計画通りに実施し、児童の運動と健康に対する意識を高められるように行事を企画していく。

## 大阪市立小林小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                         | 達成状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b><br><br>① 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。<br><b>【R7:61.3%】</b><br><br>② 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。<br><b>【校内調査 R7:26.1時間】</b> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標                                                                                        | 進捗状況 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】<br>情報社会の特性を理解し、適正な活動ができるよう指導する。<br>指標 ・ 全学年、情報モラルについての学習を年1回以上行う。          | B    |
| 取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】<br>学校行事や会議の精選・短縮などにより、働き方改革を推進する。<br>指標 ・ 教員全員が参加する学校行事や会議の在り方についての話し合いを年1回以上行う。 |      |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【年度目標の達成状況】</b><br><br>① 校内調査において、肯定的に回答する児童の割合が92.4%と目標を大きく上回っている。<br><b>【R8:92.4%】</b><br><br>② 会議や業務量の削減、業務のデジタル化により4月から8月末時点で目標を継続して達成できている。 <b>【校内調査 R8:14.4時間】</b><br><br><b>【取組内容の進捗状況の結果と分析】</b><br><br>① 各学年に応じた情報モラル教育を行っており、多くの児童が学習者用端末を適切に使用している。3～6年に対しては、9月にKDDIの外部講師を招いた出前授業を実施する予定である。また、情報モラルの指導以外でも、学校全体で学習者用端末に関するルールを設けることにより適切に利用できる児童が増えている。 |

- ② 学校行事や会議の在り方について教員全員で話し合う機会を8月26日に設けることができた。全国の働き方改革実践例や大正区内の学校の実践例なども参考にするなど、充実した話し合いが行われている。

#### 年度末への改善点

##### 【年度目標】

- ① 児童のネットリテラシーを高めていくために、今後もインターネット等の使い方を指導していく。
- ② 次年度に向けた計画的な業務の見直しを継続して進めていく。

##### 【取組内容】

- ① 適切な情報端末の使い方を家庭で決まりを作ってもらえるよう、家庭と連携しながら情報モラル学習に取り組んでいく。計画的に実施する情報モラルの出前授業だけでなく、SNSやゲーム内でのチャット上で起きるトラブルについてなど、各学級でも指導していく。
- ② 後期の学校行事や会議についても話し合う機会を設けていく。